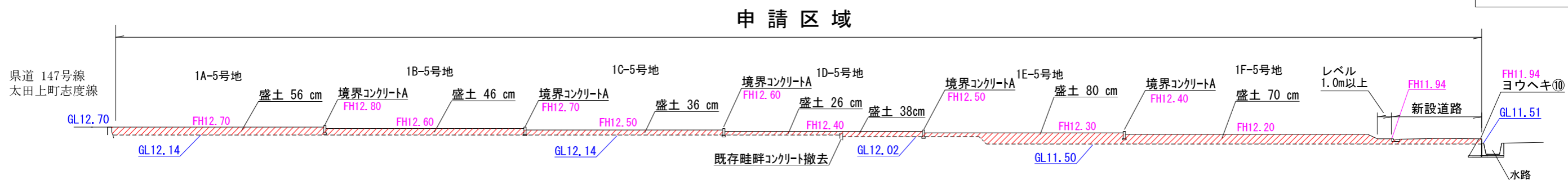


A - B 断面



- ※1 造成は@200mm~@300mm毎に転圧すること（振動ローラー、タンパを使用）
- ※2 裏込め土および盛土部分は良質花崗土で埋め戻すこと
- ※3 法面は30°を超えないように仕上げること
- ※4 宅地の水および土が道路に流出しないようにすること
- ※5 盛土勾配は最終樹に向けて整地すること
- ※6 盛土前に現状の表面土を20cm取り除いてから盛土をすること
(但し地盤改良する場合はこのかぎりではない)
- ※7 地盤改良がある場合は六価クロム溶出試験を実施し、結果を報告すること
- ※8 宅地の水及び土が道路に流出しないように、道路と宅地との境界に1m以上のレベル部分を作ること
- ※9 隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設構造物に干渉する場合は撤去すること

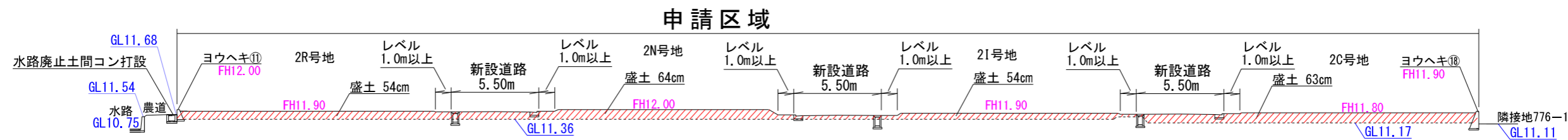
C - D 断面



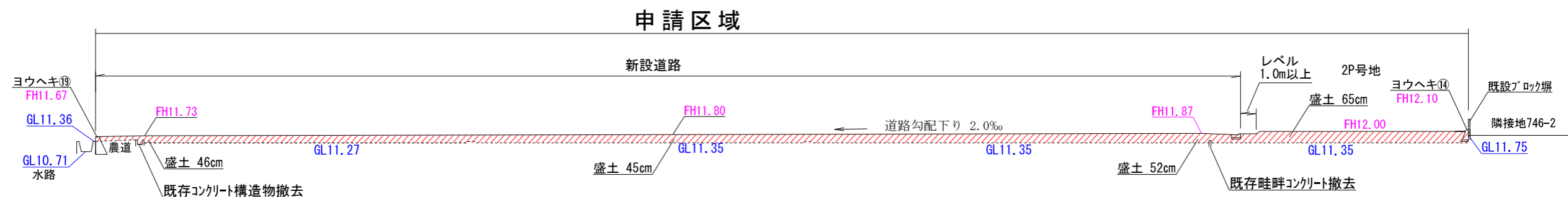
盛土部分

変更後

E - F 断面



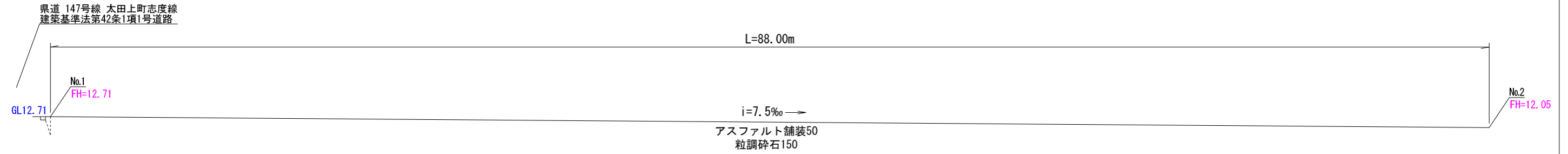
G - H 断面



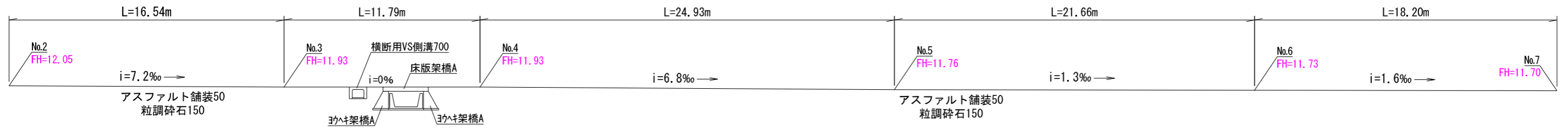
行政書士

高松市六条町875番地2
大西達男

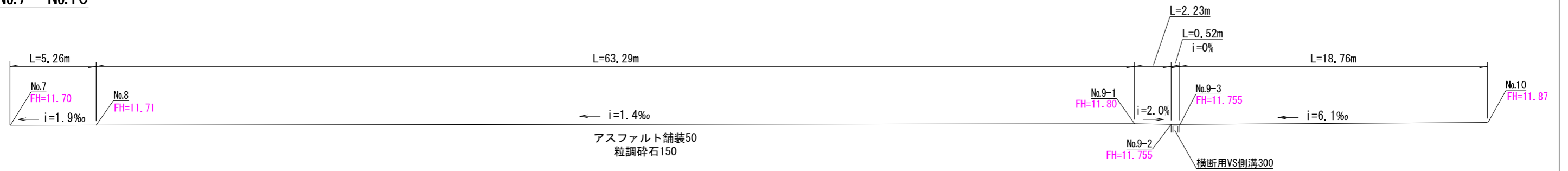
No.1～No.2



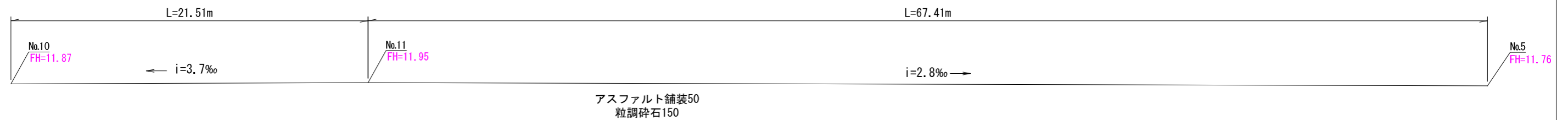
No.2～No.7



No.7～No.10



No.10～No.11・No.5



行政書士

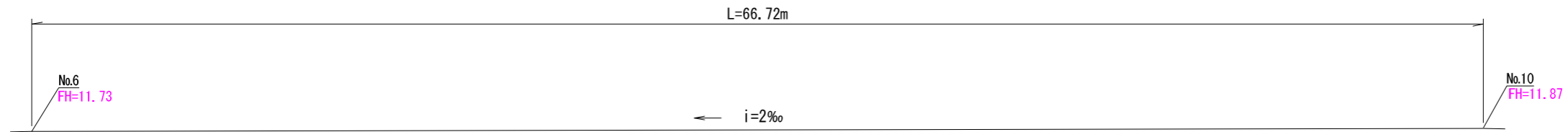
高松市六条町875番地2
大西達男

土地の所在
 高松市六条町字下青木689番1、689番2、689番3
 高松市六条町字下所738番1、738番2、738番4、742番1、
 742番6、743番、744番及び地先農道・水路、市道

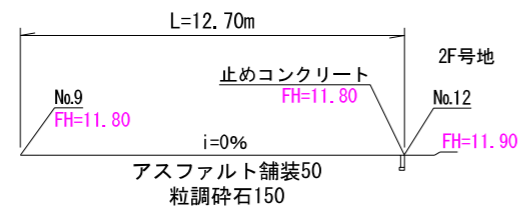
道路縦断面図 ②

R5. 7. 31

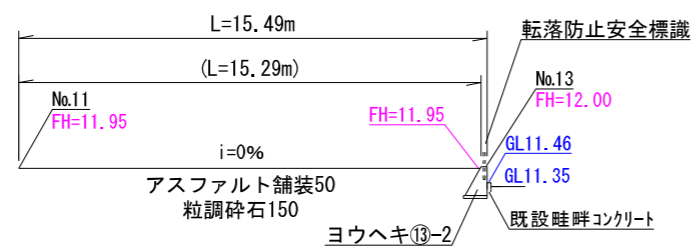
No.6 - No.10



No.9 - No.12



No.11 - No.13

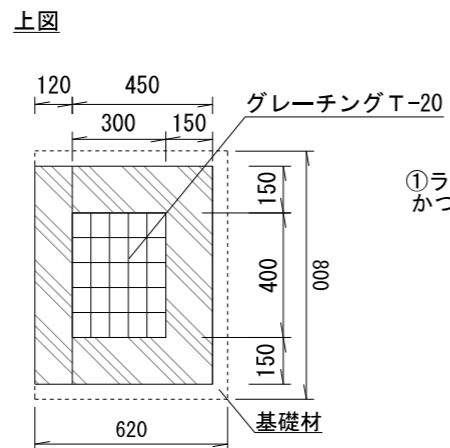
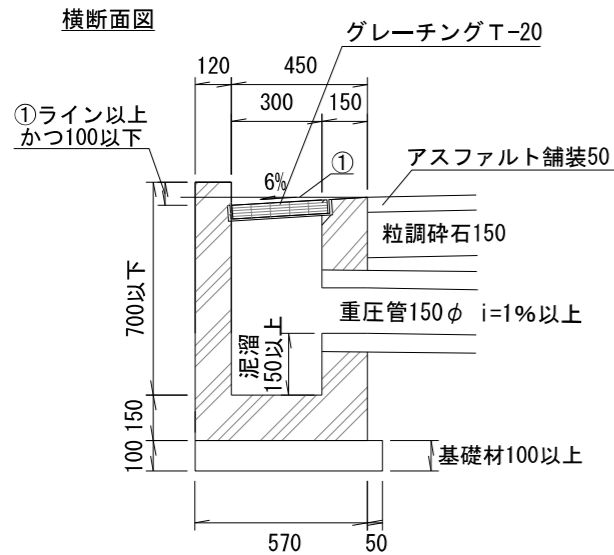


行政書士

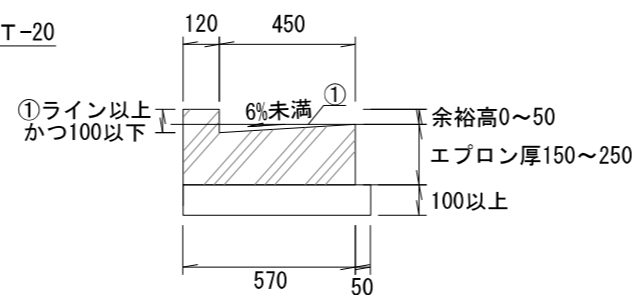
高松市六条町875番地2
 大西達男

縮尺 1/250

L型側溝雨水柵

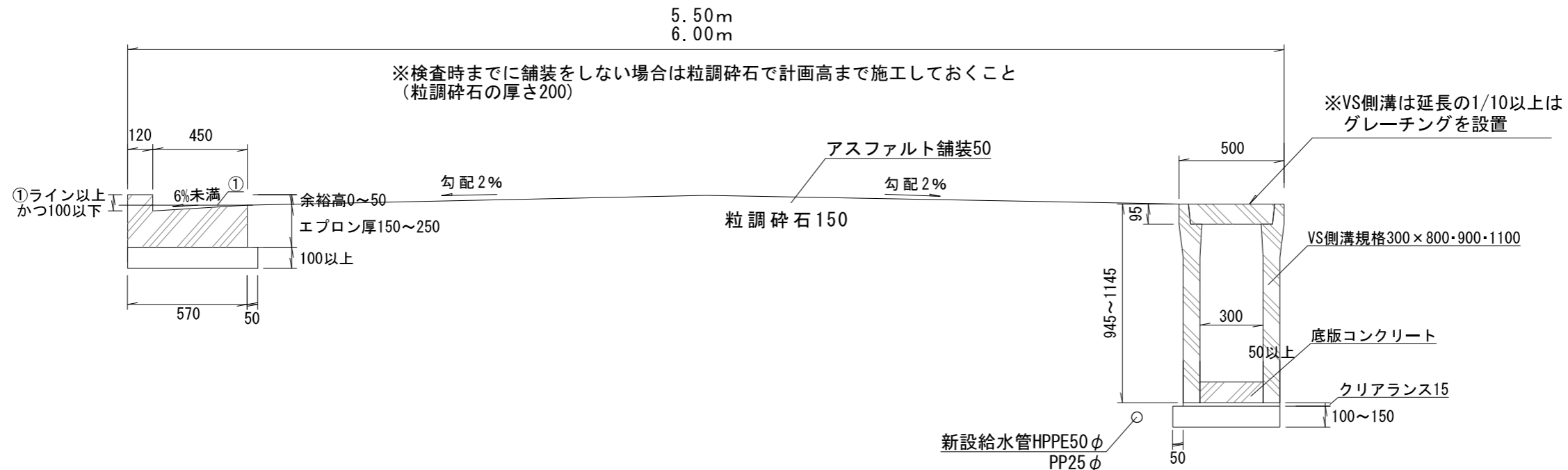


L型側溝



- ※1 材料の単位体積あたりの重量及び規格
- コンクリート無筋 単位体積重量23.0kN/m³
 - コンクリート鉄筋 単位体積重量24.5kN/m³
 - コンクリートの設計規準強度 規格σ_{ck}=18N/m² 適用無筋コンクリート構造
 - 規格σ_{ck}=24N/m² 適用鉄筋コンクリート構造
 - 鉄筋 SD345
- ※2 構造物基礎材はコンクリートとする
- ※3 擁壁の伸縮目地厚は10mmとする
- ※4 伸縮目地の設置間隔は10mを基準とする
- ※5 擁壁は地盤支持力を確認して施工すること
- ※6 宅地内重力式擁壁の設計基準 (1m未満=1:0.4, 1m以上2m未満=1:0.5)
- ・道路擁壁には使用できない
 - ・宅地内の擁壁にかかる荷重は50cm以内に荷重を載荷しないこと
 - ・また、荷重は3.5kN/m²以下とすること
 - ・土質を礫質土、砂質土としている
- ※7 隣接する構造物との間には緩衝材を用いて施工すること
- ※8 既存水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は、撤去すること。

新設5.5m・6m道路標準断面



作成者
住所・氏名

高松市六条町875番地2
行政書士 大西達男

印

排水施設計画断面図

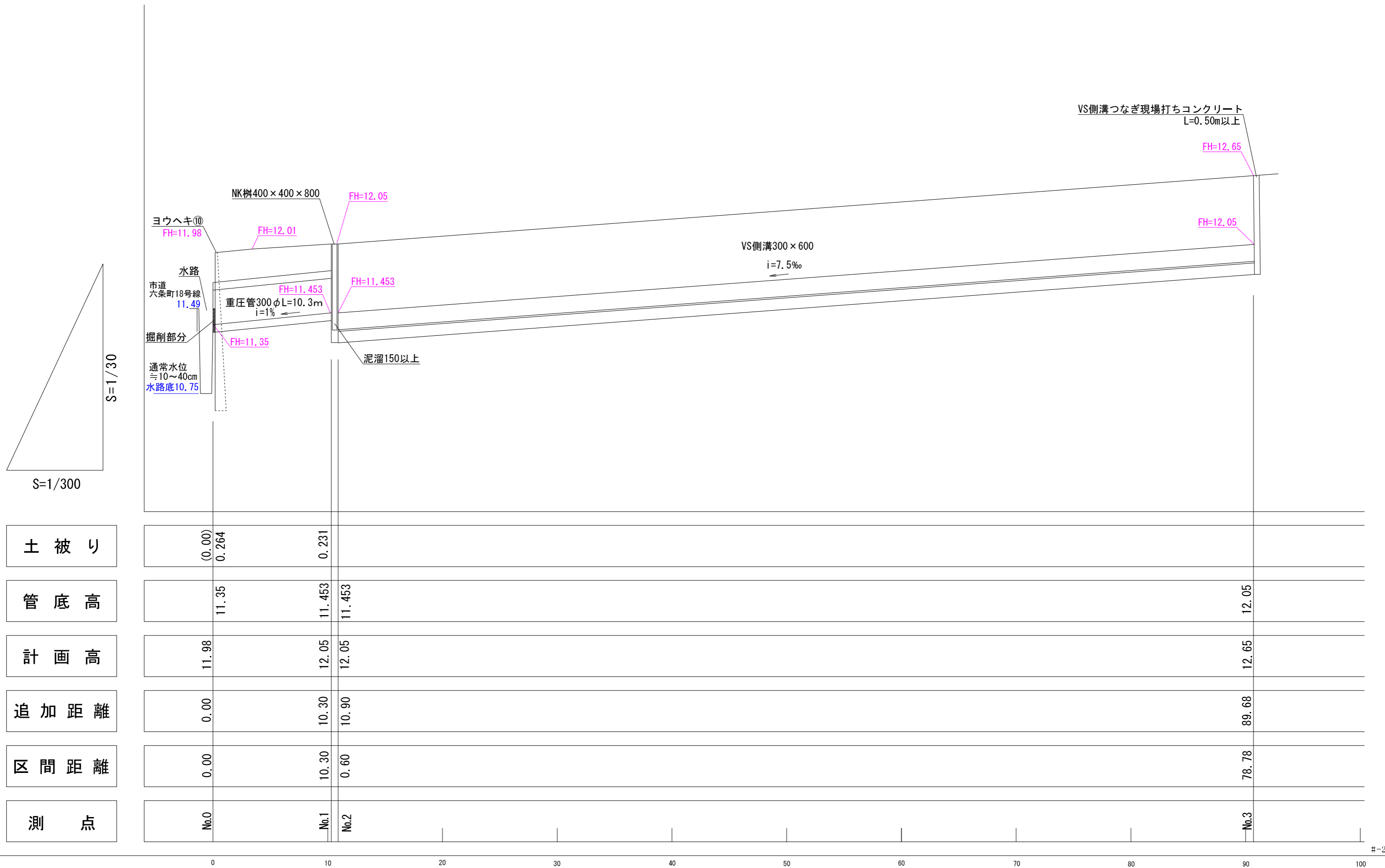
No.0~No.3

行政書士

R5.7.31

高松市六条町875番地2

大西達男



排水施設計画断面図

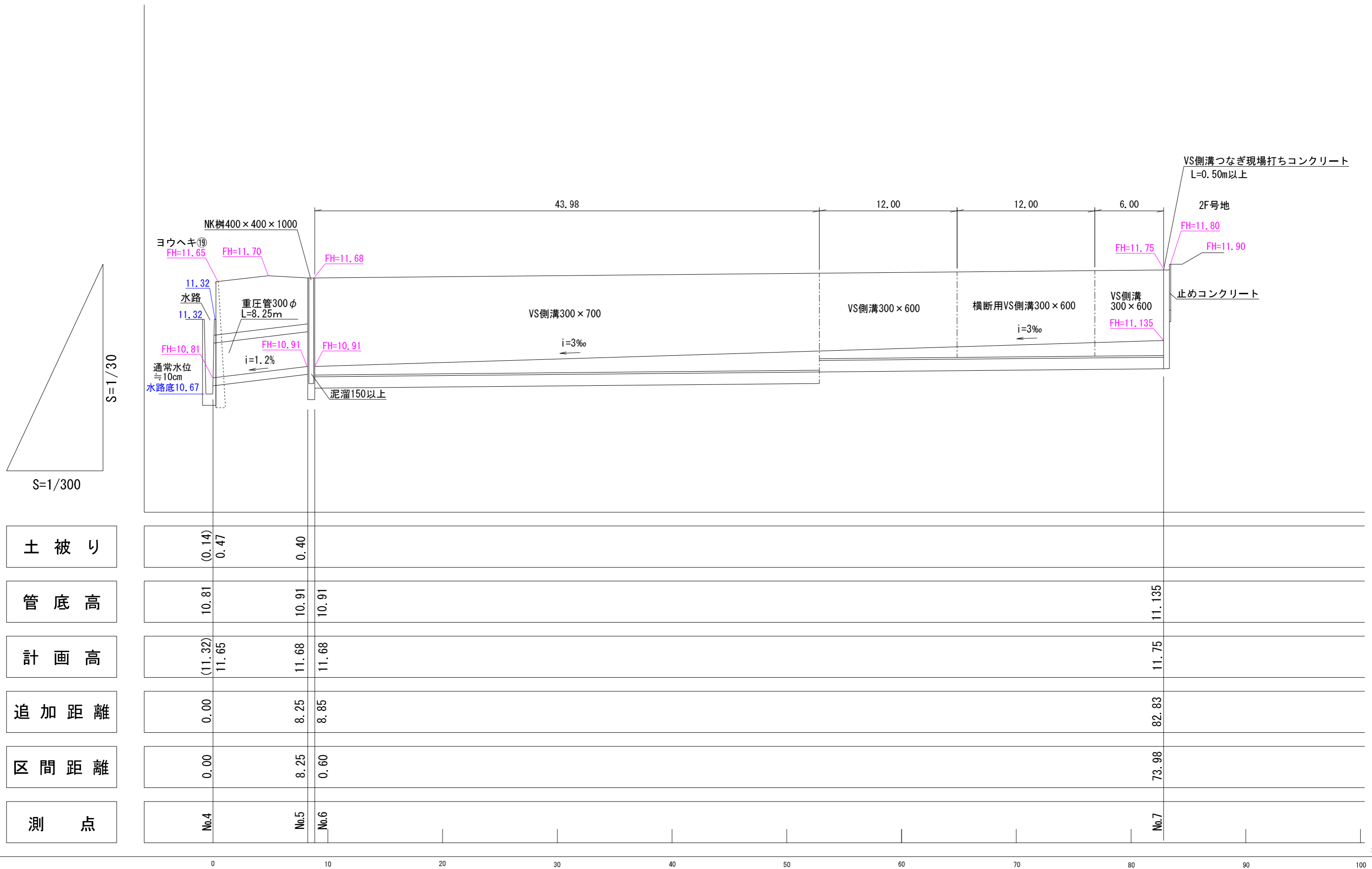
No.4~No.7

行政書士

R5.7.31

高松市六条町875番地2

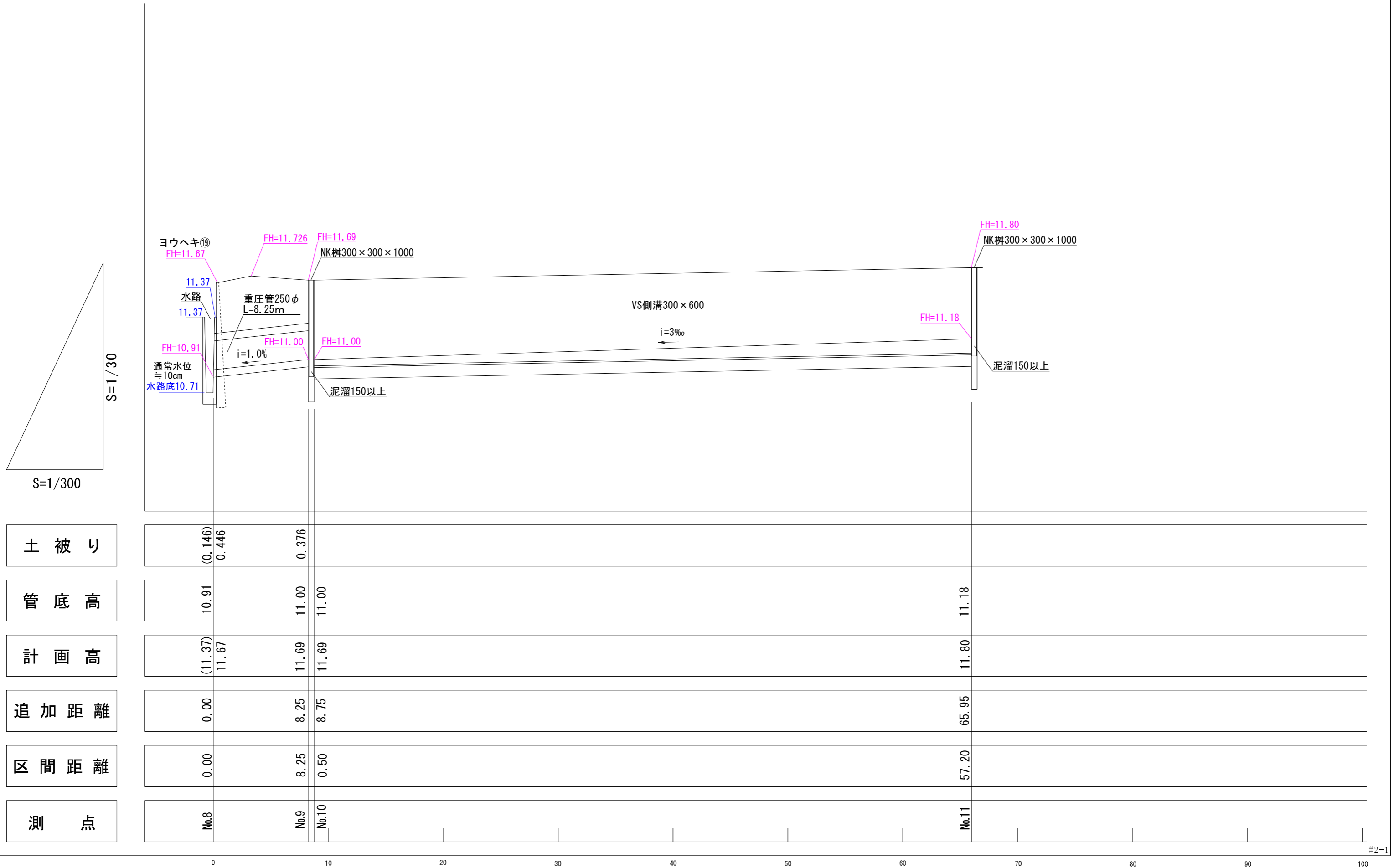
大西達男



排水施設計画断面図

No.8~No.11

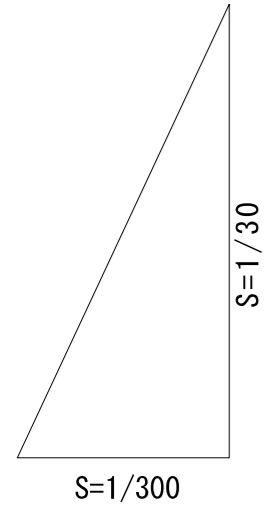
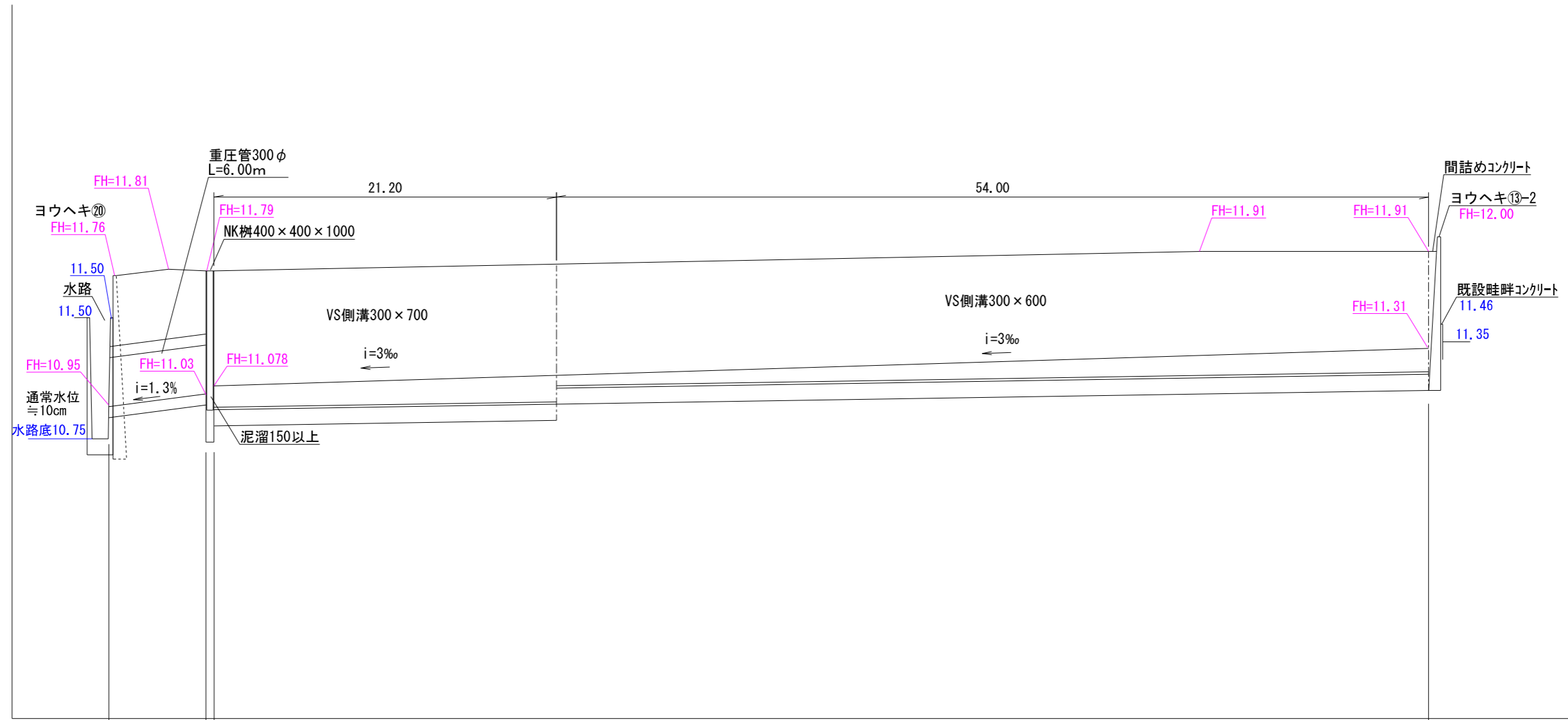
行政書士 **R5.7.31** 変更後
 高松市六条町875番地2
 大西達男



排水施設計画断面図

No.12~No.15

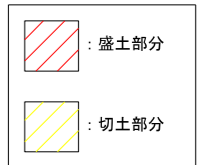
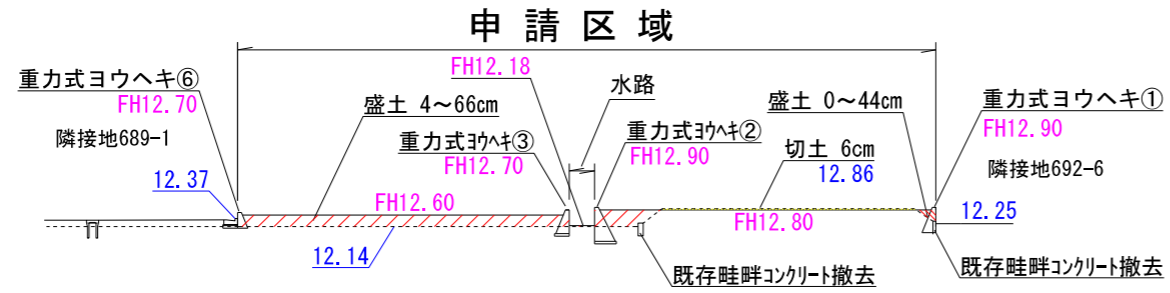
行政書士 **R5.7.31** 変更後
 高松市六条町875番地2
 大西達男



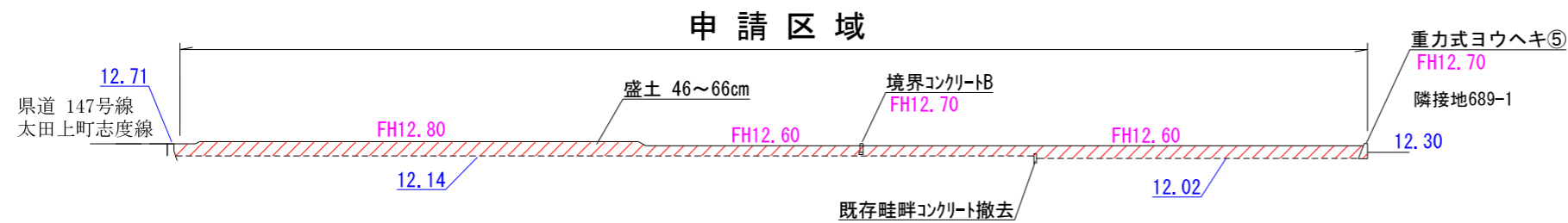
土被り	(0.182)	0.442	0.392		
管底高	10.95	11.03	11.078		11.31
計画高	(11.50)	11.76	11.79	11.79	11.91
追加距離	0.00	6.00	6.60		81.80
区間距離	0.00	6.00	0.60		75.20
測点	No.12	No.13	No.14		No.15

- ※1 造成は@200mm~@300mm毎に転圧すること（振動ローラー、タンパを使用）
- ※2 裏込め土および盛土部分は良質花崗土で埋め戻すこと
- ※3 法面は30°を超えないように仕上げる
- ※4 宅地の水および土が道路に流出しないようにすること
- ※5 盛土勾配は最終柵に向けて整地すること
- ※6 盛土前に現状の表面土を20cm取り除いてから盛土をすること
（但し地盤改良する場合はこのかぎりではない）
- ※7 地盤改良がある場合は六価クロム溶出試験を実施すること
- ※8 宅地の水及び土が道路に流出しないように、道路と宅地との境界に1m以上のレベル部分を作ること

A - B 断面



C - D 断面



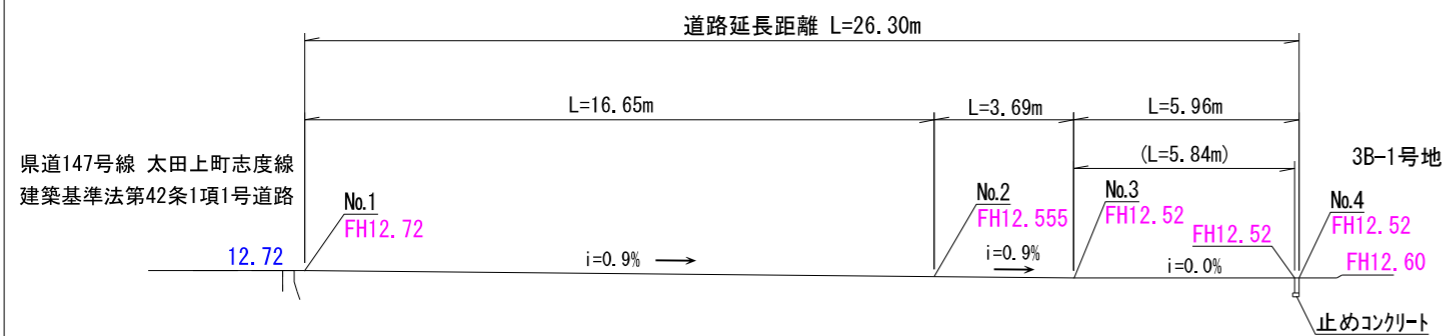
行政書士

高松市六条町875番地2
大西達男

道路縦断面図

R5. 6. 22

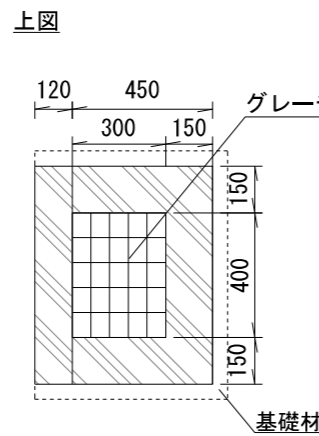
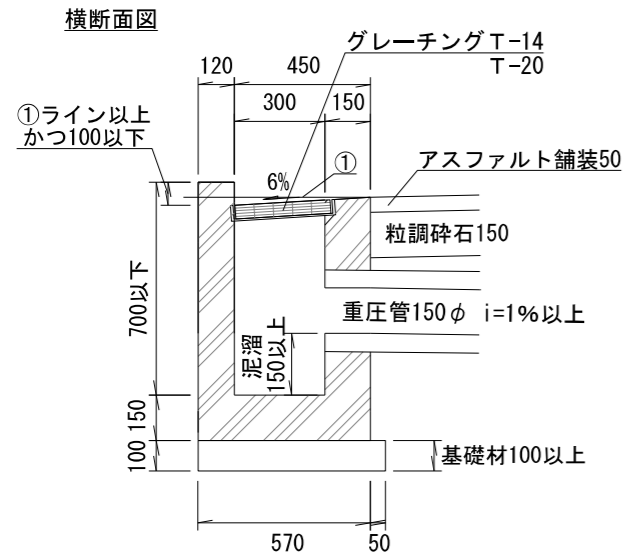
No.1~No.4



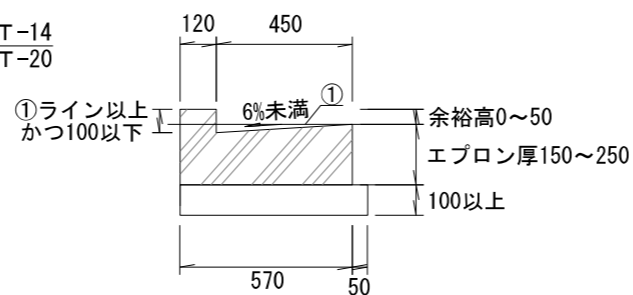
行政書士

高松市六条町875番地2
大西達男

L型側溝雨水柵



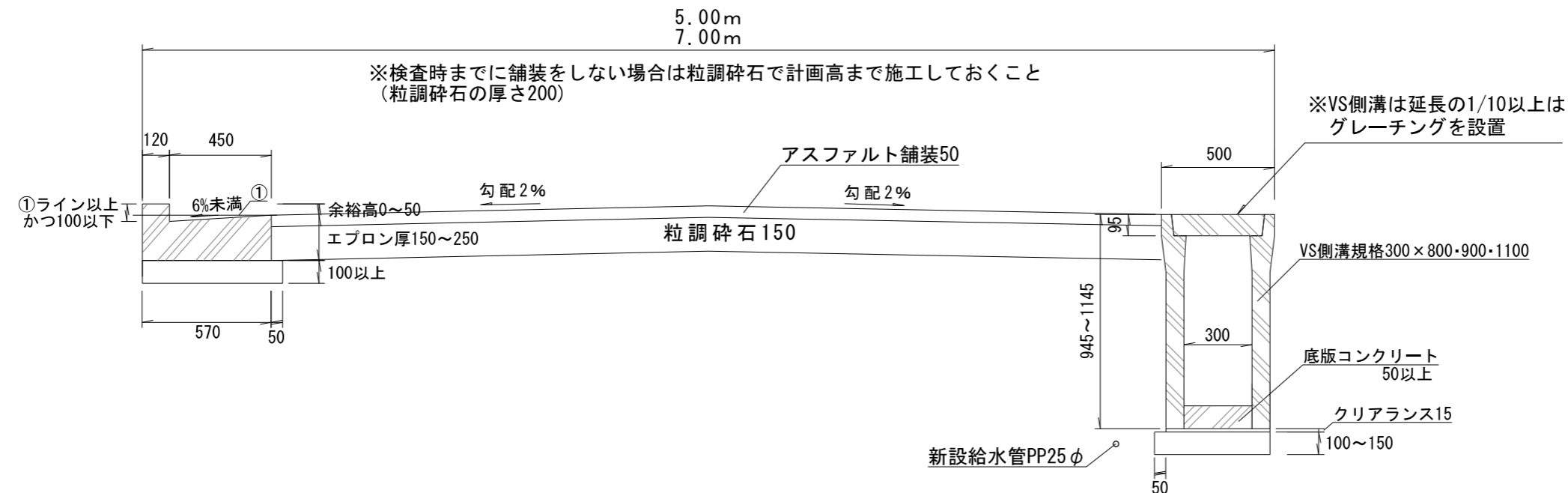
L型側溝



- ※1 材料の単位体積あたりの重量及び規格
 コンクリート無筋 単位体積重量23.0kN/m³
 コンクリート鉄筋 単位体積重量24.5kN/m³
 コンクリートの設計規準強度 規格σ_{ck}=18N/m² 適用無筋コンクリート構造
 規格σ_{ck}=24N/m² 適用鉄筋コンクリート構造
 鉄筋 SD345
- ※2 構造物基礎材はコンクリートとする
- ※3 擁壁の伸縮目地厚は10mmとする
- ※6 宅地内重力式擁壁の設計基準 (1m未満=1:0.4, 1m以上2m未満=1:0.5)
 ・道路擁壁には使用できない
 ・宅地内の擁壁にかかる荷重は50cm以内に荷重を載荷しないこと
 ・また、荷重は3.5kN/m²以下とすること
 ・土質を礫質土、砂質土としている
- ※7 隣接する構造物との間には緩衝材を用いて施工すること
- ※8 既存水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は、撤去すること。
- ※9 擁壁の天端幅が20cm未満のものはフェンス等設置のための穴あけを設けないこと

L型側溝雨水柵に設置のグレーチングは幅員5mがT-14、幅員7mはT-20を設置する

新設5m・7m道路標準断面



作成者
住所・氏名

高松市六条町875番地2
行政書士 大西達男

印